

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL:0120-094-777(通話料無料)
公告の方法	当社は以下のURLで電子公告を行います。 http://www.shizuki.co.jp/ ※事故その他のやむをえない事由により、電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
上場証券取引所	東京証券取引所 市場第二部
単元株式数	100株

ご注意

1. 株主さまの住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『指月(シツキ)』社名の由来

「指月」の社名は、創業者山本重雄が長州(現在の山口県)の出身であること、また幕末長州藩の一家老として藩政改革で功を成した村田清風が先祖にあたることから、毛利家歴代の居城である萩城(指月城)から名をお借りしたのが命名の由来です。



株式会社 指月電機製作所

本社 〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号
TEL:0798-74-5821 FAX:0798-73-0807
URL www.shizuki.co.jp



株主通信

第92期 第2四半期報告書

2019年4月1日～2019年9月30日

メッセージ

挑戦する社風へ。
一人ひとりの行動変革へ。



証券コード 6994 / 東証二部
株式会社 指月電機製作所

挑戦する社風へ。 一人ひとりの行動変革へ。



代表執行役社長
足達 信章

2019-2028年度 長期経営ビジョン

10年後の指月グループのあるべき姿

挑戦する社風へと変革し、
品質第一のモノづくりと、
未来を見据えた新技術・新商品の開発、
グローバルな事業展開の推進により、
社員の夢を実現し社会に貢献する
企業グループになる

新たな挑戦は、「お客さま第一主義」という 原点につながっている。

2019年度から、シヅキは新しい長期経営ビジョンと中期経営計画に向かってスタートを切りました。この長期経営ビジョンは「10年後の指月グループのあるべき姿」を社員たちが自ら考え、話し合いを重ね、ボトムアップでつくり上げたものです。ここに記された一言一句が、私たち一人ひとりのあるべき姿、成すべきことを指し示してくれる大切な言葉となっています。とりわけ最初の一行には、「挑戦する社風へ

中期経営計画

第Ⅰ期 2019～2021年度

第Ⅱ期 2022～2024年度

第Ⅲ期 2025～2028年度

第Ⅰ期には、産業機器、自動車機器(xEV)、電力機器(力率・品質改善)、環境・省エネ機器の事業推進を重点施策として、10年後のあるべき姿、そして、100年企業に向けた経営基盤の確立に努めます。

<セグメント別売上高目標値(連結)>



の変革」という社員たちの強い決意が込められています。

このビジョンを掲げて、およそ半年。社内の風が変わってきたのではないかと感じる場面に、私自身、幾度となく出会ってきました。ある工場では、「加工が難しい工程を誰もができるように簡易化できないか」と、若い社員が自主的に設備改善に取り組む姿が見られました。結果として、すぐに改善を果せたわけではありませんが、彼らから「失敗さえも糧にして進んでいこう」という前向きな姿勢が伝わってきて、私もうれしくなりました。

開製販が一体となった横断型の取り組みも活発化してい

ます。営業だけでなく技術者もお客様のふところに飛び込んで、たとえ難しい課題であっても粘り強く向き合っていく。あるいは、これまで製造に委ねられてきた原価低減においても、営業がものづくりの現場に行き一緒に知恵を絞り、配送コストの削減など自分たちにできる工夫を生み出していき。「なんとか自分たちで、お客さまの要望をかたちにしたい」。そんな想いが化学反応を起こし合って、シヅキが創業から大切にしてきた「お客さま第一主義」を、より体現できるようになってきたのではないかと手応えを感じています。

メッセージ

次世代自動車のこれからを見据えて、
人への先行投資を。

「挑戦する社風への変革」。ふり返ればこの半年間は、長期経営ビジョンに書かれたはじめの一行と、ずっと向き合い続けてきたような気がします。この取り組みが数字として結実するには、まだ多くの時間を要するかもしれませんが、一人ひとりの挑戦に呼応するかのように、当第2四半期の連結売上高はわずかながらも計画を上回り、114億1千万円（前年同期比10.5%増加）となりました。

一方で、営業利益は4億1千7百万円（前年同期比14.4%減少）となりました。「自動車機器(xEV)」のさらなる需要拡大を見据えて、人的補強などの先行投資を行ったことが主な要因と考えております。自動車機器というセグメントをクローズアップすると、前年同期比でおよそ150%の伸張を見せています。さらに中期経営計画で示したセグメント別売上高目標では、2018年度実績で27億9千万円だった自動車機器(xEV)を、2021年度には80億円にまで成長させるという目標を掲げており、そこを見据えた投資を行い、基盤を固めているところになります。長期経営ビジョンと中期

経営計画のスタート年である本年度、シヅキはより大きな未来を見据えて、力強く走り出そうとしています。

才能なきことよりも、
熱意なきことをおそれよ。

重点事業のひとつ「産業機器」においては、国内の基盤を強化するとともに、海外への展開を見据えて社員が現地へ赴き、積極的なマーケティング活動を進めています。その地域を知り、お客さまが求めているものを知る。シヅキならではの「お客さま第一主義」を、海外でも貫こうとしています。

新たな事業創出の柱として位置づける「環境・省エネ機器」においては、自社開発した「瞬低補償装置」や「パワー

マネージメント装置」の強みとお客さまのニーズをより深く見つめ、新たな用途開拓・販路開拓に挑もうとしています。それぞれのセグメントにおいて、社員たちがお客さまへの密着度を高め、自主的に行動を起こしていく。そんな気運が生まれつつあります。

松下幸之助さんが遺した言葉に「指導者は才能なきことを憂う必要はないが、熱意なきことをおそれなくてはならないと思う」という一節があります。私自身、ひとりの挑戦者として、時にはみんなの口火を切って走り、時には社員の挑戦を後ろから見守りながら、常に走り続け、走りながら考えていきたいと思えます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

もっと未来と向き合う、もっとお客さまと向き合う。

< 経営指標 >

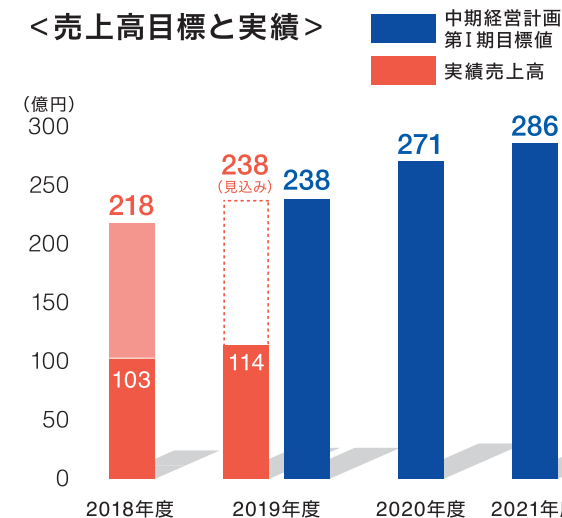
(億円)

連結売上高・利益	2018年度	2019年度 (第2四半期)	2019年度	2020年度	2021年度
売上高	217.6	114.1	238.0	271.0	286.0
営業利益	11.1	4.2	12.4	14.8	17.6
営業利益率(%)	5.1	3.7	5.2	5.5	6.2
親会社株主に帰属する当期(四半期)純利益	7.0	2.7	7.1	10.0	11.3
当期純利益率(%)	3.2	2.4	3.0	3.7	4.0
ROA(%)<総資産経常利益率>	4.5	1.8	4.9	4.4	4.8
1株当り当期(四半期)純利益(円)	21.1	8.2	21.5	30.3	34.3

実績

中期経営計画 第1期目標値

< 売上高目標と実績 >



< 重点施策の売上高目標(連結) >

コンデンサ

産業機器

2018年度 69.2億円
2021年度 82.7億円

自動車機器
(xEV)

2018年度 27.9億円
2021年度 80.0億円

電力機器

電力機器
(力率・品質改善)

2018年度 59.5億円
2021年度 54.9億円
国内
2018年度 7.3億円
2021年度 11.0億円
海外

環境・省エネ
機器

2018年度 3.0億円
2021年度 8.0億円

つくった電気を、ムダなく使える社会へ！ 「直流送電」の実現へ向けて



太陽光発電や風力発電によってつくられた電力は、みなさんの家庭やオフィス、工場まで、長い道りを運ばれてきます。このとき、発電された電力がそのまま100%届くわけではなく、いま日本で用いられている交流送電網では「送電ロス」が発生しています。そのロスを低減することができることを期待されているのが「直流送電」。シツキの重点事業である「産業機器用コンデンサ」の中には、直流送電用のコンデンサも含まれており、次世代の送電システムの実現とともに、さらなるニーズの高まりを見据えています。

直流送電が
変える！
電力の未来

送電ロスの低減

従来の交流送電網と比べ、送電ロスを低減できる。

再生可能エネルギーの普及促進

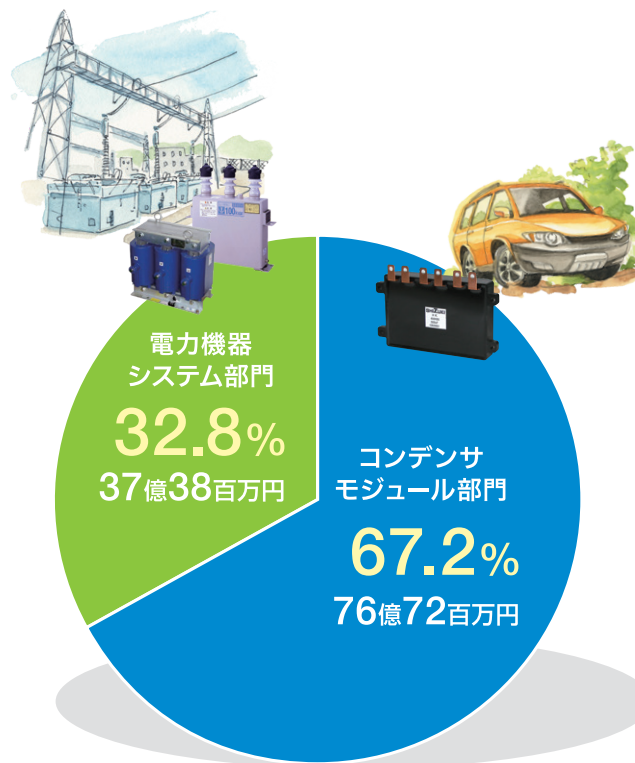
風力・太陽光発電との連携が容易なため、再生可能エネルギーのさらなる普及促進に、CO₂の削減にも貢献。

～高圧直流送電用コンデンサの納入実績～



三菱電機株式会社が、高圧直流送電システムの製品開発や検証を担う施設として2018年11月に稼働をスタートさせた「HVDC[®] 検証棟」。シツキの直流送電用コンデンサが採用されました。
※HVDC…High Voltage Direct Current (高圧直流送電)

部門別売上高比率 (2019年9月)



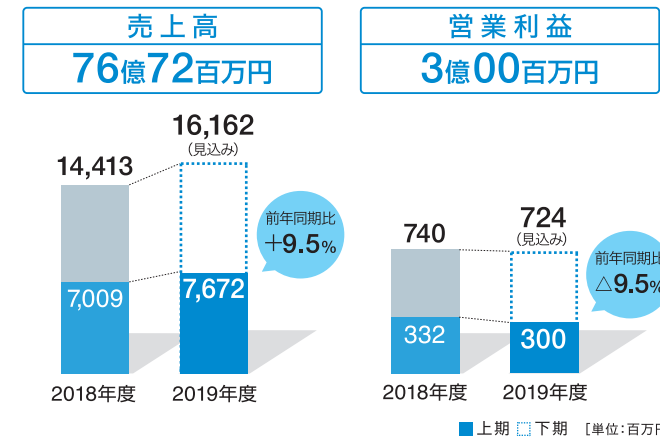
連結売上高

114億10百万円

※セグメント別の営業利益については、調整額△873百万円があります。
(セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用)

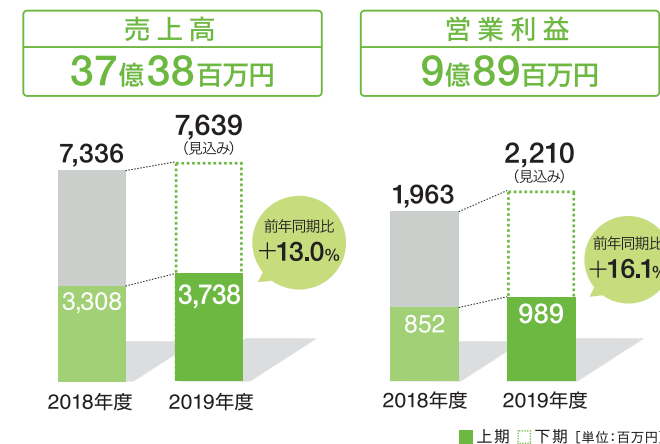
コンデンサ・モジュール部門

xEV用コンデンサおよび海外市場の電鉄車両用が好調に推移しました。結果、売上高は76億72百万円(前年同期比9.5%増加)となりました。



電力機器システム部門

力率改善装置が堅調に推移しました。結果、売上高は37億38百万円(前年同期比13.0%増加)となりました。



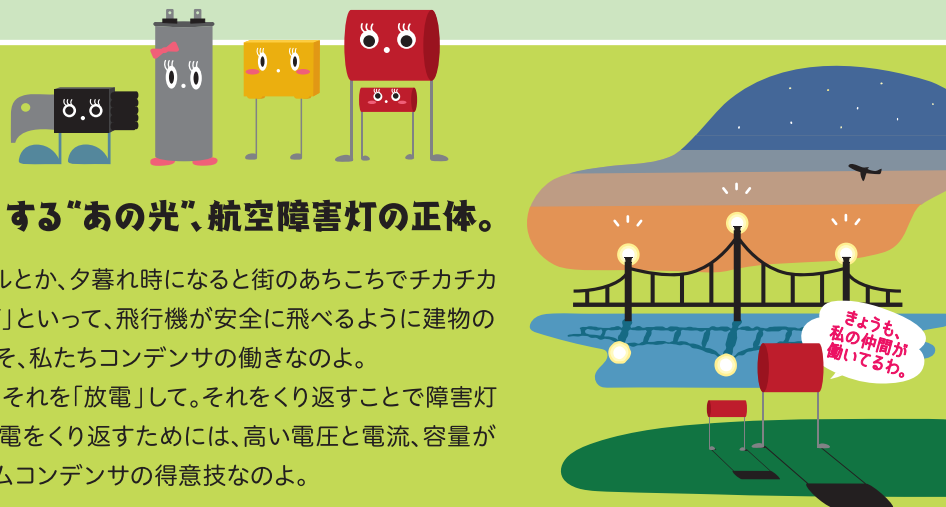
教えて！

コンデンさん

明るくなったり、暗くなったりする“あの光”、航空障害灯の正体。

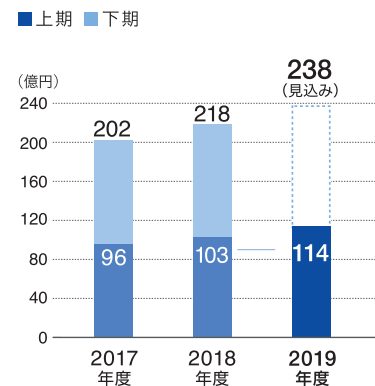
工場の煙突とか、鉄塔とか、背の高いビルとか、夕暮れになると街のあちこちでチカチカと“明滅”を始めるあの光。「航空障害灯」といって、飛行機が安全に飛べるように建物の存在を知らせてるの。実は、その明滅こそ、私たちコンデンサの働きなのよ。

コンデンサが自分に電気を「充電」して、それを「放電」して。それをくり返すことで障害灯の光をコントロールしてるの。充電と放電をくり返すためには、高い電圧と電流、容量が必要なんだけど、それこそ私たちフィルムコンデンサの得意技なのよ。

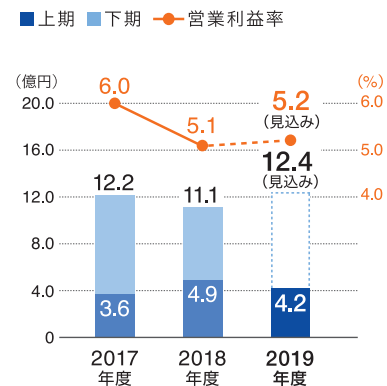


財務ハイライト

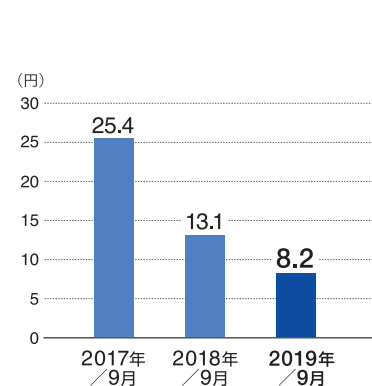
売上高



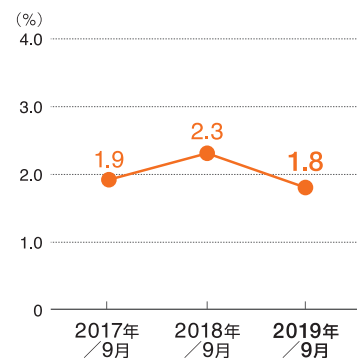
営業利益・営業利益率



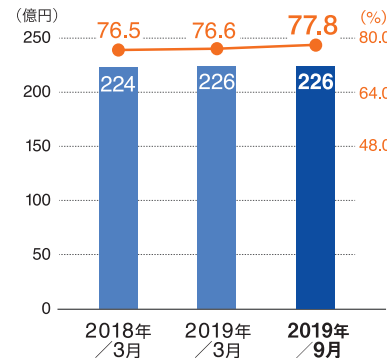
1株当たり利益 (EPS)



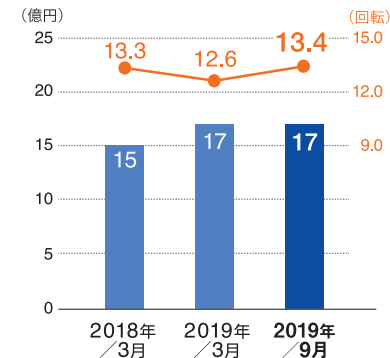
総資産経常利益率 (ROA)



純資産残高・自己資本比率



棚卸資産残高・棚卸資産回転率



POINT

売上高は、コンデンサ・モジュール、電力機器システムともに増加し、**前年同期比10.5%の増収**となりました。損益については、将来の成長に向けての先行投資の影響や、為替の円高進行もあり、営業利益、経常利益ともに減益となりました。財政状態につきましては、**自己資本比率77.8%**と健全な財務体質を維持しております。

連結財務諸表

連結貸借対照表 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 第2四半期	第92期 第2四半期
	2018年9月30日現在	2019年9月30日現在
資産の部		
流動資産	15,050	13,819
現金及び預金	6,140	4,269
売上債権	7,269	7,672
棚卸資産	1,569	1,778
その他資産	71	99
有形固定資産	11,741	12,851
無形固定資産	85	125
投資その他の資産	2,114	1,841
資産合計	28,992	28,637
負債の部		
流動負債	4,273	4,207
固定負債	2,012	1,818
負債合計	6,285	6,025
純資産の部		
株主資本	20,123	20,293
資本金	5,001	5,001
資本剰余金	4,276	4,276
利益剰余金	10,866	11,036
自己株式	△21	△21
その他の包括利益累計額	2,281	1,983
非支配株主持分	302	335
純資産合計	22,707	22,612
負債純資産合計	28,992	28,637

連結損益計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 第2四半期	第92期 第2四半期
	2018年4月1日から2018年9月30日まで	2019年4月1日から2019年9月30日まで
売上高	10,328	11,410
売上原価	7,683	8,649
売上総利益	2,645	2,761
販売費及び一般管理費	2,158	2,344
営業利益	487	417
営業外収益	259	221
営業外費用	90	112
経常利益	655	526
特別利益	66	15
特別損失	—	48
税金等調整前四半期純利益	722	493
法人税、住民税及び事業税	233	171
法人税等調整額	36	29
四半期純利益	452	292
非支配株主に帰属する四半期純利益	18	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	433	269

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位:百万円)

科目	第91期 第2四半期	第92期 第2四半期
	2018年4月1日から2018年9月30日まで	2019年4月1日から2019年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	723	906
投資活動によるキャッシュ・フロー	△984	△1,223
財務活動によるキャッシュ・フロー	△210	△209
現金及び現金同等物に係る換算差額	16	6
現金及び現金同等物の増減額	△453	△520
現金及び現金同等物の期首残高	6,594	4,789
現金及び現金同等物の期末残高	6,140	4,269

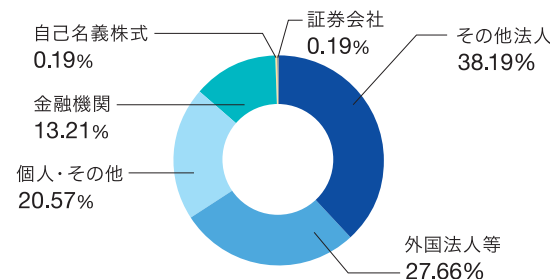
株式の状況

2019年 9月30日現在

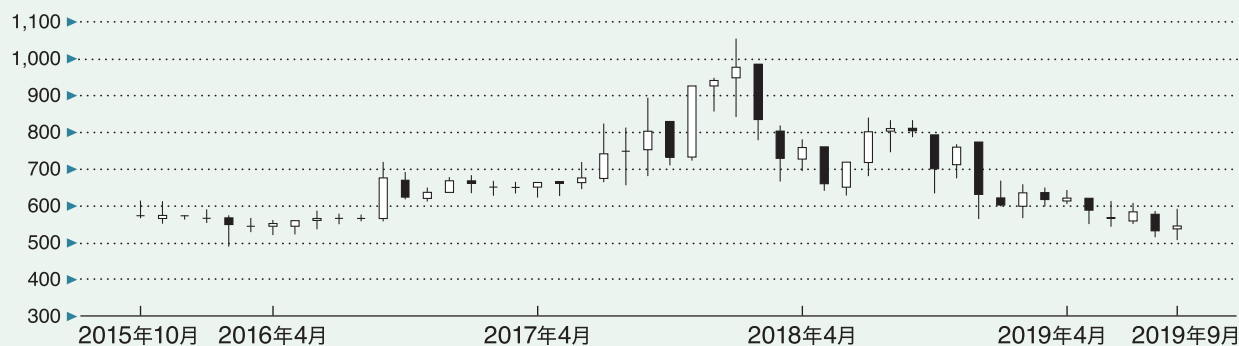
株式の状況

発行可能株式総数	128,503,000株
発行済株式総数	33,061,003株
株主数	3,276名

所有者別株式数分布状況



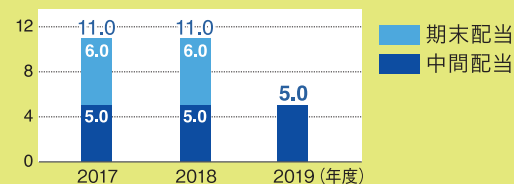
株価の推移(円)



中間配当金
1株当たり
5円

- 中間配当金 1株当たり5円
- 支払対象者 2019年9月30日現在の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者
- 支払開始日 2019年11月29日

1株当たりの配当実績(単位:円)



大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
三菱電機株式会社	6,980	21.2
株式会社村田製作所	4,471	13.5
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	4,183	12.7
NOMURA PB NOMINEES TK1 LIMITED	2,366	7.2
NPBN-SHOKORO LIMITED	1,522	4.6
株式会社りそな銀行	1,299	3.9
株式会社みなと銀行	925	2.8
指月協友持株会	866	2.6
MSIP CLIENT SECURITIES	533	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	459	1.4

(注)持株比率は、自己株式(63,932株)を控除して計算しております。

会社概要

2019年 9月30日現在

会社概要

商号	株式会社指月電機製作所
英文名称	SHIZUKI ELECTRIC COMPANY INC.
本店所在地	〒662-0867 兵庫県西宮市大社町10番45号 TEL:0798-74-5821
ホームページ	http://www.shizuki.co.jp/
創業年月日	1939年 3月10日
設立年月日	1947年 9月 1日
資本金	5,001,745,595円
グループ人員数	1,387名
主要取扱業務	<ul style="list-style-type: none"> ■ コンデンサ及び関連機器・装置の製造販売 ■ 電力機器・装置の製造販売
営業拠点	<ul style="list-style-type: none"> ● 東京支社 ● 東京支店／関西支店／中部支店 ● 仙台営業所／日立営業所 広島営業所／福岡営業所

生産子会社

社名	資本金	出資比率(%)
九州指月株式会社(福岡県)	300,000千円	100.0
秋田指月株式会社(秋田県)	300,000千円	100.0
岡山指月株式会社(岡山県)	300,000千円	100.0

関連会社

社名	資本金	出資比率(%)
株式会社 村田指月 FCソリューションズ	100,000千円	35.0

役員

取締役

取締役会会長	伊藤 薫*
取締役	足達 信章*
取締役	友松 哲也*
取締役	山本 則彦
取締役	森 公利*
取締役	谷 和義*
取締役	松尾 誠人*

*は執行役を兼任 ※は社外取締役

執行役

執行役会長	伊藤 薫
代表執行役社長	足達 信章
常務執行役	友松 哲也
執行役	小田 敦
執行役	小山 義雄
執行役	相原 宏則
執行役	大槻 正教

生産・販売子会社

社名	資本金	出資比率(%)
アメリカンシヅキ株式会社 (米国 ネブラスカ州)	17,600千米ドル	100.0
タイ指月電機株式会社(タイ バンコク)	33,000千パーツ	70.0
指月獅子起(上海)貿易有限公司	250千米ドル	100.0